会報 やまびこ

岩国市　宇野千代生家

おいでませ！山口国体
おいでませ！山口大会
君の一生けんめいに会いたい

平成22年度第１回
本会業務部と支部企画委員との協議会

土地家屋調査士制度制定60周年記念式典

山口県土地家屋調査士会

No.106.2010.11

会報 やまぐち

No.106−2010

11

CONTENTS

平成22年度第１回本部研修会報告
社会事業部長　林　弘　1

中国ブロック協議会定例総会報告
広報部長　髙松　孝一　2

第22年度第1回「境界問題相談センターやまぐち」研修会報告
境界問題相談センターやまぐちセンター長　浦井　義明　3

支部研修会　周南支部企画委員　大下　竜司　4

全国一斉表示登記無料相談会開催報告
開催場所、相談件数　5
岩国会場　岩国支部副支部長　井上　哲也　6
周南会場　周南支部企画委員　大下　竜司　6
防府会場　防府支部長　阿部　次男　7
山口会場　広報部長　髙松　孝一　7
萩　会場　萩支部長　伊藤　正典　9
宇部会場　宇部支部理事　豊川　奎植　9

「杭の日」無料相談会の報告　宇部支部企画委員　阿部　英世　10
「法の日」合同無料相談会の報告　下関支部企画委員　宮﨑　敏幸　11

山口法律関連士業ネットワーク定期大会報告
広報担当理事　藤津　浩　12

馬関まつり報告　下関支部企画委員　星本　武志　13

史跡めぐり　下関支部長　大田　浩治　14

九州ブロックのADR自主勉強会に参加して
境界問題相談センターやまぐち運営委員　大田　浩治　16

親睦クラブの活動
ソフトボール同好会 練習試合開催
ソフトボール同好会 防府支部　吉村　憲和　18

会員のつくるページ
うさぎのうたたね、亀のゆめ　～“夢”調査士の「雑記帳」～
元副会長　前田　博司　20

事務局だより　23
中国ブロック事務局研修に参加して
事務局　伊藤真由美　25

第１回本部研修会の報告

社会事業部長　林　　弘

日　時　平成22年７月９日（金）
　　午後１時30分～４時30分
会　場　山口県セミナーパーク
内　容　地積測量図作成（XML形式等）について、地図情報システム、オンライン申請書作成について
講　師　山口地方法務局　登記部門
　　表示登記専門官　竹内　基晴氏
　　山口県土地家屋調査士会
　　防府支部　　林　　俊男会員
　　山口県土地家屋調査士会
　　防府支部　　吉村　憲和会員
出席者　会員83名　　補助者26名

不動産登記規則第77条が改正され、国土調査法施行令第２条第１項第１号に規定する平面直角座標系の番号又は記号及び測量の年月日が地積測量図の記録事項に追加され、本年７月１日より適用されていること、また、各支局に順次、地図情報システムが導入され稼働されてきており、支部企画委員との協議会等で、説明の要望があったことにより、業務部でこの研修会を企画しました。当日の研修内容は、最初に現在の法務局の諸情報について（不動産登記規則第93条の不動産調査報告書の記載の注意点、山林番の解消、和紙公図のカラー出力が可能になること、オンライン申請利用率等）説明があった。第２に基本三角点等を利用した測量についての説明があった。主な内容は、国土調査法第19条第２項による認証、同条第５項による指定、その他基本三角点等としての精度を有するものなどについてだった。第３に地積測量図作成（XML形式等）について説明があった。主な内容は、現在の不動産表示登記事務取扱要領とオンライン申請の表記の相違点（境界標、座標値種別）だった。その後に、防府支部で、実際にXML形式の地積測量図を添付して申請した実証実験の結果報告が林俊男、吉村憲和会員からあった。何回も申請されて法務局とその都度細部について協議され、最終的にエラー表示が無くなり不都合なく申請できるようになったということだった。第４にオンライン申請における登記申請書の良い例、悪い例の説明があった。入力誤りすると、本来申請すべき不動産に対してロックが掛からないので、変更前の状態の証明書等が取得される恐れがあり、また、後に提出されたものが先に登記されるなど、取引に支障が生じた場合、賠償問題になる可能性があるので要注意ということだった。いろいろと難しいことが多くなりましたが、いままで以上に注意して確実に行うことの大切さを再確認した研修会だったと思います。

以上報告します。

中国ブロック協議会定例総会報告

広報部長　髙松孝一

第53回日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会の定例総会が下記のとおり開催された。今回は岡山市で行われ、山口会からは、来賓として乗川良介全国土地家屋調査士政治連盟副幹事長、役員として西本聡士会長（ブロック協議会副会長）、杉山浩志副会長（同監事）、代議員として吉田多理・戸倉茂雄各副会長、林弘業務・社会事業部長、板垣龍夫総務部長、松田光則財務部長、オブザーバーとして高松孝一広報部長・渡辺英雅オンライン登記申請促進委員長が参加した。

１．日時　平成22年６月18日（金）（議事・表彰）
　　平成22年６月19日（土）（担当者会議）
２．場所　岡山全日空ホテル
３．議事
　１号議案　平成21年度事業報告
　２号議案　平成21年度収支決算報告書承認の件
　　山口会負担分
　　（588,000円 @2,400×245名）
　３号議案　平成22年度事業計画（案）審議の件
　４号議案　平成22年度収支予算書（案）審議の件
　　山口会負担分
　　（578,400円 @2,400×241名）

質疑応答の中で連合会における単位会の会費について、連合会の役員および会議の削減等を提言し、少しでも会費を下げられるよう会長会議等で話し合っていきたい。また、オンライン申請と法務局の統廃合については登記行政の根幹が崩れないよう慎重に話し合い、連合会および法務局へ提言していきたいとの説明があった。

　５号議案　平成23年度次期開催地決定の件
　　鳥取での開催が提案された。

以上すべて満場一致で可決された。

引き続き来賓入場後、広島法務局長表彰・中国ブロック協議会会長表彰が行われた。

本会関係者は下記のとおりである。

広島法務局長表彰
　浦井義明（岩国支部）
　瀧野基雄（宇部支部）
中国ブロック協議会会長表彰
　藤本　精二（宇部支部）
　山本三喜夫（防府支部）
　下野　洋二（下関支部）
　中本　満生（岩国支部）
　田代　雄三（下関支部）
　本間　正幸（山口支部）

（滝野会員・西本会長）

２日目は各分科会に担当部門毎に分かれ参加した。

第１分科会『業務部担当者会同』
　（参加者 吉田・林・板垣）
第２分科会『広報担当者会同』
　（参加者 杉山・戸倉・松田・高松）
第３分科会『オンライン申請促進担当者会同』
　（参加者 渡辺）

平成22年度第１回「境界問題相談センターやまぐち」研修会報告

境界問題相談センターやまぐち　センター長　浦井義明

平成22年度第１回「境界問題相談センターやまぐち」研修会は、平成22年11月５日（金）午後５時から７時30分まで、カリエンテ山口（山口県婦人教育文化会館）に於いて、センター関与員の弁護士、調査士会員を中心に総勢54名が参加し、「調停のイメージをつかむ」と題して行われた。

また研修会終了後、今までにない試みとして、弁護士会員と調査士会員との懇親会を、研修会場近くの、翠山荘にて開催した。

〔挨拶〕

研修開始に先立ち、両会から次のような数多くの挨拶と説明がなされた。

西本聡士山口県土地家屋調査士会会長

「調査士会と弁護士会が行う共同研修会の歴史的意義」

中山修身山口県弁護士会会長

「山口県弁護士会と境界問題相談センター：ユビキタスな弁護士・弁護士会」

浦井義明境界問題相談センターやまぐちセンター長

「センター設立の趣旨・目的：成果、現状、課題報告」

中光弘治境界問題相談センターやまぐち副センター長

「センター設立から３年間を振り返って」

杉山浩志境界問題相談センターやまぐち運営委員

「境界紛争の原因と問題点、ＡＤＲ：調停のイメージと種類」

〔ロールプレイ〕

川口寛司副センター長の司会のもと、渡辺亜弥ＡＤＲ顧問の説明と共に「落ち葉事件」と題してロールプレイが開始された。

杉山浩志、大田浩治、清水浩二各委員がそれぞれ、調停員役、申立人役、相手方役となって迫真の演技をした。

渡辺亜弥ＡＤＲ顧問より、ロールプレイの終了にあたって振り返りとして、傾聴、中立、当事者の主体性等をキーワードとして、調停人の発言・振る舞いについての、解説、アドバイスが行われた。

最後に、今研修会への質疑として「この題材は境界問題ではない、土地所有権、時効取得、使用貸借という観点で問題をとらえなければならない。感情を重視しすぎだ」との弁護士会関与員からの意見もあった。

研修会最後の質問、振り返り発表の時間不足等で、延長研修会と題して次の懇親会で、引き続き質疑、討論することにした。

〔懇親会〕

懇親会では、センター業務のみならず、日常業務においての懸念事項そして、ロールプレイでの振り返り事項等、さまざまな議題について、時間の経過も忘れて、参加者全員熱心な延長研修会を行い、散会した。

支部研修会

第１回周南支部研修会の報告

周南支部企画委員　大下竜司

平成22年９月１日（水）午後３：00から午後５：00まで山口地方法務局周南支局３階会議室において、講師に杉山浩志総務担当副会長をむかえ、倫理（事故事例・本会に寄せられる苦情等）をテーマに支部研修会を開催しました。

立会に関する苦情、業務進行、報酬に関する苦情、筆界特定に関する苦情などの説明がありました。苦情を言ってこられる人の中には、インターネットなどで調査士法、会則、懲戒事例などを事前に調べている人もいらっしゃるとのことで、その事で突っ込まれないように意識して業務をしなければいけないと思いました。隣接者間の人間関係のトラブルのはけぐちが、調査士が以前した業務に向けられる場合があり、防ぎようがない場合もあるとのことでしたが、業務をする前に十分に説明し、業務後も十分にフォローしていれば、防げていることもあるのではないかとのことでした。

今回の研修を意識して、日々の業務をしていこうと思います。最後に、講師をしていただいた杉山浩志総務担当副会長はじめ、苦情処理にあたっている方々の御苦労に感謝致します。

無料相談会開催報告

「全国一斉表示登記無料相談会」報告

去る10月９日（土）、土地家屋調査士制度制定60周年記念事業の一環として、また、表示登記制度創設50年の節目の年として「全国一斉表示登記無料相談会」を下記のとおり開催しました。なお、山口市においては山口地方法務局と山口県土地家屋調査士会との共催により開催しました。

開催場所	相談件数
周東中央公民館 岩国市周東町下久原1208－１	3
周南市市民交流センター（駅ビル３階） 周南市御幸通２－28	6
サンライフ防府 防府市八王子２丁目８－９	5
山口県土地家屋調査士会館 山口市惣太夫町２番２号（ＪＲ山口駅構内）	19
アトラス萩店 萩市大字御許町42－１	0
フジグラン宇部　１階特設会場 宇部市明神町３丁目１－１	11
合計	44

法務局と共催した山口会場の様子

岩国会場報告

岩国副支部長　井上哲也

日　　時：平成22年10月９日（土）
　　午前10時～午後４時
場　　所：周東町中央公民館
相談者数：３名
相談内容：下記のとおり

今回、岩国支部では岩国市周東町中央公民館に於いて相談会を実施しました。具体的な内容は、

１．取得した畑の一部を他人が耕作している。（境界確認未了）
２．長年耕作していた土地が他人の所有物であった。
３．境界ブロックを設置する際の隣人との費用負担割合について。

相談内容は土地家屋調査士として回答できるものから、司法書士、弁護士へ相談すべきものと多種多様な相談があります。時間的な事や費用的な事で問題解決へ向けて進めない事情の相談者もいるので、的確なアドバイスをすると同時に、ゆっくりと相談に乗り、少しでも相談者の気持ちが楽になるようにしてあげる事も必要であると感じました。

周南会場報告

周南支部企画委員　大下竜司

日　時　平成22年10月９日（土曜日）
　　10：00～16：00
場　所　周南市市民交流センター
　　（駅ビル３階）
相談者　６組

午前中は５組、午後は１組の計６組の相談者が来られました。最初の相談者は９：20には来られており、すぐに会場を準備し相談を始めました。

相談内容は、土地の境界問題など土地に関する相談が多く、遺産分割に関するもの、所有権移転についての相談もありました。

土地の境界についての相談は、１時間を超えるものもありましたが、10分ぐらいの説明で満足して帰られるものもありました。

今回の相談会では市役所等へのチラシの配布にかえて、新聞折込紙に広告を載せましたが、１組が見て来られたのみでした。他は市の広報３組、ホームページを見て１組、市役所で聞いて１組でした。

相談員として参加された会員の皆様、応援に来られた会員の皆様、お疲れ様でした。

防府会場報告

防府支部長　阿部次男

防府支部会場は、サンライフ防府に於いて午前10時より午後４時まで開催致しました。

今年は例年になく出足が良く、開始時間前には２組の相談者が 又10時過ぎには１組の相談者が来られ、同一時間帯に計３組が来られました。午後からの２組とあわせ計５組で例年とあまり変 わりませんが、１組当たりの相談時間が長くなっているようです。今後も支部として相談会等を通じ活動を続けていきたいと思っております。

山口会場報告

広報部長　髙松孝一

土地家屋調査士制度制定６０周年記念事業の一環として法務局職員と調査士とが連携して行う表示登記無料相談会が全国一斉に行われ、山口会においては下記の通り山口支部の協力の下に開催されました。

日　時　　平成22年10月９日（土）
　　午前10時～午後４時
場　所　　土地家屋調査士会館（山口市）

法務局からは受付として広江博総務課長補佐、相談員として稲田久美男総括表示登記専門官、藤井茂総務登記官、に参加していただきました。調査士会からは西本聡士会長、戸倉茂雄副会長、藤原淑雄支部長、渡邉英雅副支部長、青木正治理事と私の６名が参加しました。

開始早々に予想した以上の方が来られ、一時ロビーにて待っていただくような状況で、最終的には19名の相談者となりました。

相談件数

１．表示登記にかかる相談　　７件
１．権利に関する相談　　７件
１．表示・権利双方に係る相談　５件
（付随して税金に係る相談もあった。）

例年の山口支部における無料相談会（９月

１日杭の日）の相談者が５名前後であることに比べ法務局との共催の効果が大きかったものと考えられます。土地家屋調査士制度制定60周年記念事業の一環として行われた無料相談会を盛況のうちに終えることが出来、法務局をはじめ御協力いただいた皆様方に感謝いたします。

記念事業の一環として国民に対する社会貢献はもとより、筆界特定制度と調査士会ＡＤＲとの連携、地図整備の促進、不動産登記制度の重要性について効果的に広く周知を図る目的でありましたが、相談者全員が満足されたことがアンケートには書かれていました。

今後の広報活動の為、相談会を知った媒体についてアンケートの中で聞いたところ

１．市町広報紙	４人
２．タウン紙	７人
３．官公庁等配布チラシ	７人
４．インターネット	０人
５．友人、知人	２人

であり、タウン紙およびチラシの効果が大きいとの結果が出ました。法務局および他の関連士業との共同開催を含め今後の参考にしたいと思います。

最後に山口地方法局の奥田局長に会場まで激励に来ていただきました。この場をかりてお礼申し上げます。

萩会場報告

萩支部長　伊藤正典

日時　平成22年10月９日（土）
場所　アトラス（スーパー）萩店１階
時間　午前10時より午後４時まで

萩支部では午前10時より午後４時までアトラス萩店１階にて無料相談会を開催いたしました。

午前10時より午後１時まで萩地区の先生方６名、午後１時より午後４時まで長門地区の先生方５名が相談員として待機していましたが、あいにく相談者が訪れることなく寂しい結果と合いなりました。相談者０名。

これは、普段各先生方の日常において、しっかり相談を受け処理出来ていることのあらわれなのか?、特に相談すべきことが無いのか、はたまた当日の開催についての広報が行き届いていないのか…

萩市役所発行の市報を確認いたしましたが、残念ながら相談会の予定記事が見当りませんでした。

次回から広報を含め事前準備をしっかりする必要を感じています。

報告まで

宇部会場報告

宇部支部理事　豊川奎植

１．日　　時　平成22年10月９日（土）
　　午前10時 ～ 午後４時
２．会　　場　フジグラン宇部　１階広場
３．相 談 員　６名
４．相談件数　11件

11件中、表示登記に関係する相談は８件です。その内、広報・ローカル紙を確認の上での相談者は、７組です。（開始時刻前の受付待機が２組あり。）

概要は、境界をめぐるトラブルが複数あり、他は、未登記建物、地籍調査、権利関係などの手続についてです。内容の詳述は省略いたします。

また、午前中に相談が８件と偏ったため、少し激務となりましたが、労を惜しまずに、ご対応されたことが、うかがえます。

相談のための相談にならぬよう、当方の場合、心意気でカバーをしようと思いますので、肩に力の入るところです。

支部では副支部長より、事前に相談員を募っております。今回、スケジュールの都合上、あえなく不参加となられた会員方にも敬意を表します。

「杭の日」無料相談会の報告

宇部支部企画委員　阿部英世

日　時　　平成22年９月１日
　　午前10時より午後３時
場　所　　フジグラン宇部
　　小野田サンパーク
相談員　　フジグラン宇部
　　午前、午後　各３名
　　小野田サンパーク
　　午前、午後　各２名

相談者　　フジグラン宇部　　６名
　　小野田サンパーク　　０名

宇部支部では、上記の２ヶ所で本年も「杭の日」無料相談会を行いました。

本年は土地家屋調査士制度60周年の無料相談会が10月に予定されており他支部では「杭の日」無料相談会は開催されないとも聞いておりますが本支部は開催しました。

小野田会場では相談者はありませんでしたが宇部会場では６名の相談者があり買物途中での方も居られましたが大方は市の広報紙をみて来られた方でした。

相談内容は筆界、山林番の境界の定めかた、分筆費用、建物は登記する必要があるか、相続等、なかには、売却、隣地の雑草等の駆除問題等相談員も回答、他の機関紹介など熱心に対応したので相談者は一応納得されたようでした。

「法の日」合同無料相談会の報告

下関支部企画委員　宮﨑敏幸

日　　時：平成22年10月１日
　　午前９時～午後３時
場　　所：下関市役所　１階ロビー
相 談 員：午前２名、午後２名
相 談 者：午前５名、午後１名

下関支部では、毎年10月１日に司法書士、公証人、行政書士、社会保険労務士が開催していた「法の日」合同無料相談会に昨年から参加するようになり、年４回の無料相談会の一環として継続していきたいということから、全国一斉表示登記無料相談会の開催日とは異なりますが、10月はこの１回に絞って実施したものです。五士業による合同相談会ということで市報「しものせき」に行事案内が掲載され、各ブースとも開始直後から相応の数の来訪者があった模様でした。

調査士への相談内容としては地籍調査に関する相談、死亡した親族所有の山地番の処分についての相談、隣家との間の所有者不明の土地に関する相談、建物の所在更正登記に関する相談等でした。

相談者の傾向としては60～70歳代くらいの方が中心で、通りすがりに相談会場に来訪され、登記簿・公図等の基礎的な資料を持って来られていない方がほとんどでした。このため、相談者の話を聴く限りでのアドバイスに限られるケースが多く、回答にあたり苦慮したところでもありました。また、相談者の中には相談内容の裏側にある自分の気持ちを私達に聴いて貰えたということで満足して帰られる方もおり、専門家として「聴く」ということもいかに重要であるかと実感した日でありました。

山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告

広報担当理事　藤津　浩

本年度の山口法律関連士業ネットワーク定期大会は調査士会が当番会に当り、ホテルニュータナカで、7月16日（金）に開催された。

定期大会は青木調査士会理事の司会により、西本理事長の挨拶、高松理事の21年度の事業報告、決算報告、22年度の事業計画、予算報告、又戸倉監事の21年度監査報告があり、全ての議事が無事報告、承認された。

定期大会終了後に講演会が開催された。

講演会　テーマ　「土地制度と筆界特定」
　　講　師　山口県土地家屋調査士会
　　参与　山　崎　耕　右

講演の内容は筆界特定制度の内容及び現状について。

又、奈良時代より現在までの土地制度と税の変遷についての講演であった。

講演終了後は懇親会が催され、他士業の方また、国会議員、県会議員の方々と交流をふかめた。

なお来年度は山口不動産鑑定士協会が当番会です。

第10回馬関まつりＰＲ活動

下関支部企画委員　星本武志

今年で第33回目を迎える夏の下関を代表する祭り「馬関まつり」が８月21日（土）と22日（日）の２日間にわたって開催され、下関支部としては第10回目となる出店ＰＲ活動を行いました。今年の出店内容は、恒例になってきた「わたがし」に加え、新メニュー「チュロス」と「タコス」を「境界問題相談センターやまぐち」のリーフレットなどを配布しながら販売しました。大田支部長、清水副支部長はじめ参加者一丸となって準備、調理、販売にと汗を流しました。

今年は例年に増しての猛暑で当日も35度を越える暑さでしたが、２日間で延べ42万人もの多くの人で賑わい商品の売れ行きも好調でした。「わたがし」は作り方にコツが必要なうえ作り置きできない為、手間はかかりますが子供たちだけでなく大人にも人気で、閉店まで行列が絶えませんでした。「チュロス」については、物珍しさからか21時の閉店前に売り切れ、全員休む暇もないほどの大盛況でした。「タコス」については、初めの内は少し売れたものの、猛暑の影響からなのか思ったほど数量が出ませんでした。そんな中、土地家屋調査士の認知度はまだまだ低いようで、のぼりやポスターを意味深げに眺めていらっしゃる方も少なくなく、あらためて地道なＰＲ活動が必要だと実感しました。目もまわる程の忙しさに、暑さに大勢の人の熱気が加わり全員ヘトヘトになっていましたが、充実した２日間でした。

最後になりましたが、本年度も参加された会員、補助者の皆様をはじめ関係者の皆様の深い御理解、御協力のもとに２日間の馬関まつり出店ＰＲ活動を無事終えることができましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

雨に見舞われた下関長府・史跡めぐりの報告

下関支部長　大田浩治

本会主催の史跡めぐりが平成14年に岩国支部を皮切りに始まって各支部を一巡し、今年は最終の下関支部の引き受け。梅雨のまっただ中だったため、週間天気予報が気になり、１週間前の予報ではまだ当日は曇り程度の見込みで安心していたのですが、結局は断続的に強く降る雨天となってしまいました。

６月26日（土）、早朝より県内各地から下関に参集して下さった西本会長はじめ会員、補助者、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。０歳から80代まで総勢122名が参加されました。

今年はＮＨＫの大河ドラマで「龍馬伝」を放映中です。坂本龍馬が土佐を出て三田尻に渡ってきた後、下関の長府藩士と交流を深めていて、妻のお龍さんと滞在していた土地も市内にあるため、下関では龍馬に関するイベントや企画をよく目にします。

当日は集合先の下関マリンホテルで、まず古代から歴史にもよく登場する関門海峡を眺めながらの昼食。そして会場をその２階の宴会場に移して、下関立長府博物館学芸員の田中洋一氏を講師にお迎えして「坂本龍馬と下関」と題する講演を聴きました。

田中氏は羽織袴。坂本龍馬の大親友である長府藩士で宝蔵院流槍術の名手である三吉慎蔵に扮し、お手製の槍を手に持って、まず参加者を目で楽しませてくださいました。龍馬が万一の時にお龍さんを頼むと三吉慎蔵に宛てた手紙をはじめ、数々の長府藩士との関わりを史実に基づきパワーポイントを用いてわかりやすく話され、長府博物館で展示中の龍馬愛用の茶碗の写真も映し出されました。龍馬とお龍さんが巌流島でこっそりとのろし花火を上げて興じたというエピソードは、のろし花火がハートマークになる田中氏オリジナルの映像で説明され、会場が沸き上がっていました。

講演会の後、午前中の集合時よりも雨脚が強くなっていたのではないでしょうか。意を決して、当初の計画通り長府散策に向け２班に分かれて観光ガイドさんの引率でホテルを出発。最初の目的地の長府庭園では、水たまりのため園内の予定ルートを歩けず引き返すというハプニングもありましたがほぼ一周できました。

中継地の長府観光会館で観光ガイドさんが増えて６班態勢になり、それぞれ高杉晋作が挙兵した功山寺、龍馬の愛用品や書状などを企画展示中の長府博物館、長府毛利邸の門前、石畳が敷かれ歴史的情緒のある古江小路などを、時に傘をたたみ、また急いで傘をさし、そんなことを繰り返しながらとうとう悪天候の中を歩き通しました。お子さん連れで参加してくださった皆さんは特にお疲れだったかと思います。

天候が天候だけになおさら大所帯の行事を無事執り行えましたことは、参加者皆様の深いご理解とご協力の賜物です。重ね重ねお礼申し上げます。下関支部のスタッフにとりましても貴重な経験をさせていただきました。以上で、本年の史跡めぐりの報告とします。

九州ブロックのＡＤＲ自主勉強会に参加して

境界問題相談センターやまぐち運営委員　大田浩治

６月19日（土）、20日（日）の２日間にわたり福岡市のチサンホテル博多で、「境界センターの円滑な運営を目指して」をテーマにした九州ブロックのセンター関係者によるＡＤＲ自主勉強会が開催され、山口会、愛媛会のセンター関係者も含めて総勢63名が参加。ＡＤＲの将来に関するレビン小林久子先生の問題提起をはじめ、それをもとにしたグループ討議、事前相談のロールプレイとその良かった点と問題点の振り返り、各会センターの態勢や利用実績などの現状報告、センター運営の検証や認定調査士の活用についての情報交換、筆界特定制度との連携についての話し合いなど、盛りだくさんのメニューでした。

レビン先生の「日本のＡＤＲを再考する」と題する問題提起では、なぜ民間ＡＤＲの成長が遅いのかについて、当事者の自由を縛ることになる仲裁と自主的な話し合いを意味する調停との区別が理解されていないことによる混乱や、筆界の意味の理解の相違や認定調査士と対話促進型調停の信奉者が存在している調査士業界内の混乱、ＡＤＲを牽引するリーダーシップが無いまま民間ＡＤＲ事業者が乱立、などの要因を示したうえで、これがＰＲの弱さや利用者の戸惑いを招いていると話されました。

次にこうした現状への対応策として、対話促進型調停、行政型ＡＤＲへの移行その他の類型を例示したうえで、どれをセンターが目指していくべきかについて参加者が８グループに分かれて討議し、レビン先生の司会のもとに各グループの代表者がそれぞれグループでまとめた意見を発表。対話促進型に的を当てたグループ、官民の整合性を探るというグループ、調査士としての専門性を生かし、ある程度解決案を示す“プチ弁護士”型と行政型あるいは対話促進型との混合型など様々な意見が出ていました。

「多人数合意形成」の練習は、センターのあり方について各自30字以内でまとめ、それを隣り合う２人で互いに見せ合い、協議して一つにまとめ、同様に順次絞っていって、最終的にグループで一つにまとめていくというものでした。どういう答えを出すかよりも、プロセスを体験することが主眼でした。これ

もレビン先生の司会により各グループが発表し、調査士としての専門性を生かすこと、対話促進型の解決を目指すというあたりが大方の意見で、経済的に成り立つために行政とのタイアップを図って複数のメニューを用意するという意見も出ていました。

私がいたグループでは、当事者間で話し合いができるようになって紛争解決に至るのには、必ずしも調査士の専門性はいらないのではないか、いや、調査士であることを信頼して相談に見えるのだからある程度の専門性は必要、利用者にとって利用しやすいセンターを目指したい、などの議論が交わされました。

事前相談のロールプレイは、相談員２名、相談者１名及びその付添人１名がその場で任命され、各配役の年齢や事前相談にいたる紛争の経緯、役作りのポイントなどが書かれた概要書が渡され、特に相談員には電話応対簿と事前相談期日の通知書しかない状態という設定でした。平静なやりとりが続く中、機転の利いたアドリブが飛び出て場内が笑いやどよめきに包まれる場面もあり、終始和やかに進行していきました。この後、グループごとにロールプレイの良かった点、問題点、改善策などを実務上の細かいところまで踏み込んで話し合い、レビン先生の司会のもとに発表していきました。

各センターの現状報告の際、裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律第５条に規定された法務大臣認証を受けている愛媛会の三宅雄二センター長が会場からの質問に答える中で、センターのイメージを「夜に来られるお客さんのために門灯を点けておけば、足下もわかるし、迷わずに来られる」という比喩で語られたのは印象的でした。

２日目のグループ話し合いでは、事前相談、相談、調停といったセンターの各手続きや運営の検証、認定調査士の活用、筆界特定制度との連携などをテーマに、各県会のセンターの状況報告を交えて意見交換。グループによっては予定していた全てのテーマを話し合う時間がなくなるほど集中的な議論になったところもあったようですが、最後に各グループの代表者がそれぞれ話し合ったことを板書して発表しあいました。

中でも筆界特定制度との連携については、資料の共有等困難な課題はあるものの、参加者からは異議はなく基本的に連携に前向きで、相談窓口を一本化する、筆界特定後に所有権界を決めて登記手続きにいたる合意文書作成する等、連携のあり方に関する意見が多数出ていました。

最後に、今回の勉強会開催に当たってたいへん尽力され、山口会からの参加を快く迎えて下さった鹿児島会の谷口正美センター長はじめ九州ブロックのセンター関係者の皆様にこの場を借りて感謝申し上げ、勉強会の参加報告とします。

（写真提供：境界問題相談センターかごしま谷口正美センター長）

親睦クラブの活動

ソフトボール同好会 練習試合開催

ソフトボール同好会 防府支部　吉村憲和

平成22年10月23日（土曜日）午前10時から防府市向島運動公園においてソフトボール同好会練習試合が秋晴れのなか開催されました。

午前の部は、西本会長からビール１ケースの差し入れがありましたので、優勝賞品ビール１ケース争奪の第１回会長杯が行われました。チーム編成は、参加者の所属支部の人数により下関支部連合対山口支部連合に分かれ、１チーム９人とまではいきませんでしたが、８人構成で試合が行われました。試合内容は、下関チームの柴田事務所補助者（有資格者）桑田貴昭君、山口チーム百合野事務所補助者（有資格者）百合野崇君の若い２人の投げ合いとなりました。試合開始からしばらくは、長年のブランクと日頃の運動不足もあり、みなさん動きが鈍かったですが一回一回、回を重ねるごとに打っては走るという本来のソフトボールの試合らしくなってきたと思います。途中、防府支部阿部次男支部長、同支部松田光則会員からの差し入れを受け、山口チームの奮起も見られましたが、７回までの攻防の結果、15対13で下関チームが接戦を制しました。当ソフトボール同好会清水代表の活躍が一度もないまま終わってしまいましたが、第２回会長杯では期待したいと思います。

昼食後、午後の部が開催され、所属支部に関係なくランダムにチーム編成が行われました。午後からの参加者もあり、１チーム９人という当たり前の試合をすることができました。午前の疲れがピークに達する人、現役の時の動きを取り戻す人などそれぞれの個性が出てきて、中には、疲れがピークを越えすぎて落合監督の現役時代の風貌をかもし出す人まで出てきました。岩国支部井上会員、防府支部阿部事務所補助者福島昭夫さんの好投、同好会清水代表の活躍、百合野君の連続三振など午後からも見所の多い楽しい試合が行われ、事故や怪我もなく無事に終了することができました。

みなさん防府の海風に当たり、いい汗をかかれたのではないかと思います。ご支援ご援助していただきました皆様には、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。第２回が開催されるよう頑張っていきたいと思います。

試　合　結　果

第１試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
下関・周南・防府	2	2	1	2	0	6	0	13
山口・下関（P/C）	7	5	0	1	2	0	×	15

打順	1	2	3	4	5	6	7	8	9
守備位置	2	8	1	3	9	7	5	6	4
下関・周南・防府	清水	山本	桑田	山﨑	吉村	林	井上	杉山	大田
山口・下関（P/C）	坂本	大來	和田	堤	山根	三﨑	益田	大森	百合野
守備位置	9	8	2	6	3	5	7	4	1

第２試合（メンバーミックス）

	1	2	3	4	5	計	6	7	計	8	9	計
A	1	0	2	0	1	4	0	0	4	6	6	16
B	0	0	1	0	0	1	6	1	8	0	3	11

※泣きの２回追加！　※泣きの２回追加！

打順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
守備位置	6	1	2	3	7	8	4	9	5	
A	坂本	福島	山根	和田	清水	桑田	大森	大來	三﨑	
B	山本	林	大田	益田	堤	吉村	井上	百合野	山﨑	杉山
守備位置	7	5	4	6	8	3	1	9	2	DH

会員のつくるページ

うさぎのうたたね、亀のゆめ
～“夢”調査士の「雑記帳」～

元副会長　前田博司

1.「過去から来た男」登場

2010年10月23日、三好敏夫元会長「卒寿」のお祝いに馳せ参じた。数年前にリタイアした元会員たる小生にも、忘れずにお声をかけていただき、感謝！

氏が山口県土地家屋調査士会の会長職に居られたとき、その指揮下で本部理事や副会長（一期限定ではあったが）などの仕事をさせていただいたご縁がある。それは、楽しくも有意義な日々であった。

お祝いの会の雑談のなかで、土地家屋調査士が仕事を辞めた後に、どのような生き方をしているかについて、なにか会報に書いてみないかとのお誘いを受けた（それとも、当方の勝手な押し付けだったかも…）。

リタイア後の、いわばリセットしてからの「セカンド・ライフ」がどんなものか、盛業中の諸氏にとっては、あるいは興味がおありかもしれないので、我が近況をざっくばらんにお話ししよう。またこれは、我が人生のクロニクル（年代記）がわりにもなりうると思い、とりあえず脳内のスクロールにとりかかった次第。

2.「郷土史家」の「閑時々忙」

斯業をリセットして後、しかも「後期高齢者」にも認定された熟年者が、何をしているかって…　まずは我が名刺を見ていただきたい。パソコンで作ったヘナヘナのカードに、肩書きはその時々の肩書を貼り付けた至極シンプルなものである。そう、今のところ「郷土史家」か、それに関わる呼称を使っている。「元～」などと名乗るほど、然るべき顕職は経験していない。「郷土史家」だって、それこそ地域限定のマイナー的な存在に過ぎないけれど、さし当っては、これが身に合っているというか、つまり、それしかないのだ。

日々、時間が悠々と流れるなかに、なんとか山椒魚めいて過ごしているが、それでも、時として「閑中忙」といったこともある。例えば、10月10日から一週間のスケジュールを挙げてみよう（ただし、もろもろの「呑み会」は別として…）

イ、10月10日「第4回金印シンポジウムin志賀島」（福岡市東区）

前夜祭（９日）「古代海人サミット」の参加者紹介で、勝手に「下関市」を代表する。

シンポ（10日）「古代海人の活躍～安曇族の全国進出」に、パネリストとして「古代長門の“住吉”族」を発表。

下関市広報広聴課から紹介を受けたとの、長野県安曇野市の「安曇誕生の系譜を探る会」のお便りを頂戴して一年半。その流れに乗って、志賀島でのシンポジウムに加わっているから、不思議なご縁のつながりである。この流れで、来年２月には安曇野まで講演の足が伸ばせるようだ。

ロ、10月12日 下関夜話会「岩のつぶやき 石の声～下関周辺の岩と石」を講演。

名も無いはずの岩や石も、命名されると兎角知られるようになる。こうしたマイナーな存在にも、時には目を向けてほしい。

ついでに「鳴き砂」の謎についても一言触

れた。山陰・響灘沿岸にも、知られざるいくつかの「鳴き砂」海岸があるのだ。

ハ、10月16日　豊田歴史大学「『弥生の土笛』を追って」を講演。

下関市教育委員会豊田教育支所主催の「歴史大学」に、今年もお呼びいただいた。「朝鮮通信使と下関」「海峡のみちとまち」「小早川秀包の歴史」「金子みすゞと下関」に続く５度目の講話である。

ニ、10月17日　下関古代文化研究会

第177回例会「陶塤の来し方、行く末」を講義。

これが当会の15周年にもあたり、この回をもって例会を終えることとする。やっと「主宰」の肩書が外せて一安堵。かつて、７年ほど某大学の講師をしていたころ、綾羅木郷台地の弥生遺跡の砂で作った30分砂時計を、最終回の例会で披露した。

これからは、ただ一介の「郷土史家」（！）として過ごすことになる。

３.「詩人」（？）のたわごと

そうだ、私は時として「詩人」（？）でもあった。地域限定、時期限定、括弧つきの「詩人」ではあっても、一応詩集なるものも出している。山口県立図書館や下関市立図書館蔵書の検索をかけると、拙著の『みすゞどき』や『みすゞっこ』が出てくるかと思う。

あゝ！茫漠
日に日、夜に夜を継ぎて、
ともかくも、喜びの寿（とし）にか至る。

いま 晴耕をなさず、
雨読もさらにあらずして,
時には いささか咽喉を潤し、
時には 貧頭をゆさぶりつつ、
いつになればクロニクルは仕上がるか。

その業、例えれば 蝸牛の歩み、
紙魚（しみ）の営みほどにも 進まずて、
いたずらに たゞいたずらに 日は徒る。

夢は、ポイントをどこに おこうとも、
あくまでも随意、つまりは自己満足。

うさぎのうたたね、亀のゆめを重ね重ね、
そんなこんなの あげくのはては、
しゃぼん玉かよ、曠野の虹か。

かくも平凡、かくも無為。
たそがれ空を 見やるとき、
あゝ あゝ あゝと からすが渡る。

基本的収入は年金しかない身だが、「詩」といえば「酒」。スナック「ゆきち」の常連として、京子ママを相手に、いつまで楽しくつつましく、「酒場」通いができるやら…

４.「夢」はゆらぎゆらいで…

いまでもくりかえし見る夢がある。ベルが鳴り、群れていた若者が、いっせいに各教室に入ってゆき、私一人が廊下に取り残されている。どの教室に入ってよいか、わからない私がそこにいる。そんな夢である。

先日思い切って、とある教室（階段教室らしい）に飛び込んだら、壇上にそこで講義している私がいたというミステリーに見立てたことがある。事実、某大学の教授に誘われて、「非常勤講師」をしばらく勤めたことがある（1998年～2005年）。だから、そんな見立ても、ウソではない。

いま、その大学で、当時と同じ「地域論」を受講している。だから、先ほどの「夢」の続きは、若干シナリオを変えなくてはなるまい。

身は老境にあっても、こころはいまだに「夢」

を追い続ける「若者」なのだ。

5.「夢追い男」のエンディング

「夢」を重ね重ねて、ラヴェルの「ボレロ」のように、起伏を繰り返しながらフィナーレに近づきつつある。我が子守歌は、母方の叔父がくれた「ボレロ」の洋盤であった。我が人生の「いま」は、その何度目の繰り返し時点なのかと思ったりもする。

耳のなかの「潮騒」は、次第にその響きを高めている。「五年生存率」の時限爆弾をかかえた我が「病いども」も、いっまで黙っていてくれるやら。病院通いで「多忙」なのは、ひらに御容赦願う。

もしも葬送のことがあったら、しかるべく「ボレロ」の曲で送ってほしい。

いまだに「青春時代」のつもりでいる自称「青年」は、いつまで「夢」を抱き続けられるだろうか。いずれは「人生劇場」の銀幕から消えなくてはならないが、できるだけカッコよく舞台を去りたいものだ。

「後期高齢者」到達を機に、車の免許を返上したが、それに代わる身分を証明するものが必要ではないかと、先日パスポートを取得した。これで「冥土」への旅は問題ない。っいでだから、ペアで台湾にでも行ってこよう（11月14日〜17日）。

土地家屋調査士は、結局ドロップ・アウトしたけれど、「“夢”調査士」としての「生きざま」は、生涯続けるつもりである。

そういえば「多彩なる人生を！」が、若いころのモットーだったっけ。もっとも、それは「プチ・マルチ」的な「生きざま」でしかなかったけれど…

三好氏の「白寿」のお祝いもしましょうと、会をお開きにしたのだが、それまで「うさぎのうたたね、亀のゆめ」が続けられるか、それは、我が「“夢”調査士」の気力と、分相応の暮らし向きに任せるしかない。

「夢追い男」のシャボン玉、どこまで飛んで果てるやら。（2010.10.29）

事務局だより

会員異動状況

1．会員入会状況

	氏　名 （生年月日）	入　会 年月日	事　務　所	TEL	FAX
	山田　篤志 （S50.2.1）	H22.9.1	〒751-0808 下関市一の宮本町二丁目 8番33号	（083） 263-0210	（083） 263-0211

2．会員退会状況

支　　部	地　　区	氏　　名	退会年月日	備　考
下　　関	下　　関	中原　範雄	H22.6.25	廃業
宇　　部	宇　　部	町　紀美幸	H22.6.30	廃業
宇　　部	宇　　部	中野　久雄	H22.7.12	廃業
山　　口	山　　口	山田　　勇	H22.7.31	廃業
山　　口	山　　口	本光　誠也	H22.8.31	退会

3．事務所変更

支部	氏　　名	変　更 年月日	変　更　後		
			事　務　所	TEL	FAX
下関	高橋　清行	H22.6.20	〒750-0009 下関市上田中町五丁目２番11号	—	—
下関	木村　秀洋	H22.7.7	〒750-0252 下関市大字内日上952番地１	（083） 289-2078	（083） 289-2078
防府	吉村　憲和	H22.8.1	〒747-0066 防府市自由ヶ丘三丁目７番29号	（0835） 24-5380	（0835） 24-5380

4．土地家屋調査士法人登録事項変更

法人の名称	変　更 年月日	変更事項	変　更　内　容
土地家屋調査士法人ネクスト	H22.9.17	社員の加入	米原　太一

会務報告

開　催　日	会　　務	場　　所
6月3日(木)	第2回業務部会	調査士会館
6月8日(火)	会報編集会議	調査士会館
	第1回60周年事業実行委員会	調査士会館
6月15日(火)	会報編集会議	調査士会館
6月16日(水)	山口法律関連士業ネットワーク一斉相談会打合せ	調査士会館
6月18･19日(金･土)	中国ブロック協議会第53回定例総会	岡山市
6月19･20日(土･日)	ADR自主勉強会	福岡市
6月23日(水)	土地家屋調査士制度制定60周年記念式典	東京都
6月24日(木)	日調連定時総会	東京都
6月26日(土)	史跡めぐり	下関市
6月29日(火)	第1回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
6月29日(火)	法務局との協議	法務局
6月30日(水)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調査士会館
7月6日(火)	法務局との協議	山口地方法務局
	士業ネットワーク定期大会打合会	調査士会館
7月9日(金)	第1回本部研修会	山口市
7月16日(金)	山口法律関連士業ネットワーク定期総会・記念講演会	山口市
	第2回総務部会	調査士会館
	第2回財務部会	調査士会館
	第3回業務部会	調査士会館
7月22日(木)	第2回常任理事会	調査士会館
	第2回60周年事業実行委員会	調査士会館
7月23日(金)	第2回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
7月26日(月)	「社労士会労働紛争解決センター山口」開所記念式典	山口市
7月31日(土)	中国ブロック役員会議	岡山市
8月3・4日(火･水)	筆界特定制度に関する指導者養成研修会	東京都
8月3日(火)	第2回理事会	調査士会館
8月10日(火)	山口法律関連士業ネットワーク一斉共同相談会打合せ	防府市・山口市・萩市
8月19日(木)	第3回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
8月24日(火)	支部企画委員と業務部との協議会	調査士会館
8月28日(土)	公嘱協会通常総会	山口市
8月31日(火)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調査士会館
9月1日(水)	周南支部研修会講師派遣	周南市
9月7日(火)	登録証交付式	調査士会館
9月14日(火)	会報編集会議	調査士会館
	第1回記念誌編集委員会	調査士会館
9月17日(金)	第4回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館

開　催　日	会　　務	場　　所
9月29日(水)	山口県測量設計業協会講師派遣	山　口　市
10月3日(日)	地籍シンポジウム2010／土地家屋調査士全国大会inTokyo	東　京　都
10月4日(月)	全国会長会議	東　京　都
10月6日(水)	第3回60周年事業実行委員会	調査士会館
	正副会長と青調会正副会長による座談会	調査士会館
10月9日(土)	全国一斉表示登記無料相談会	県下6会場
10月12日(火)	第4回業務部会兼第1回筆界研究委員会	調査士会館
10月15日(金)	法テラス・山口地方協議会	山　口　市
10月16･17日(土･日)	中国ブロック事務局職員研修会	島　根　県
10月21日(木)	60周年記念式典打合せ会	調査士会館
10月22日(金)	土地家屋調査士制度制定60周年記念式典	山　口　市
10月23日(土)	『三好敏夫先生を囲む会』取材	萩　　市
10月23日(土)	ソフトボール同好会練習試合	防　府　市
10月25日(月)	オンライン登記申請促進組織中国ブロック会議	岡　山　市
10月26日(火)	中間監査	調査士会館

中国ブロック事務局研修に参加して

事務局　伊藤真由美

平成22年10月16日（土）・17日（日）に鳥取県において、中国ブロック事務局研修が開催されました。中国ブロック管内の事務局職員11名、山口会からは伊藤、森下の２名が参加しました。

16日（土）午後１時30分よりP-Create代表で元全日空客室乗務員の松下香寿美氏を講師に迎え、「電話応対を含む接遇研修」をテーマに研修が始まりました。

これまで接遇については、自己流で行っておりましたが、今回接遇研修を受け、こちらの視線、声、表情、姿勢などで、相手が持つ印象がいかに大きく変わるのかということ強く感じました。

印象に残ったのは、人の第一印象の決定時間は平均６秒とのこと。身だしなみや顔の表情がいかに大事かということ。また、目を見て話すのは、最低必要条件ということ。これまで、目を見て話すのは恥ずかしいので、目をそらしがちでしたが、相手に話を聞いていない印象を与えてしまうとのこと。目を見るのが恥ずかしければ、眉間や鼻をみても相手には十分聞いてもらえているという安心感を与えることができるとのことでした。

その後、場所を宿泊先に移動し、夕食をとりながらの第2次研修となり、各会事務局での日常の執務における意見交換、情報交換、またお互いの近況報告などをし、大変有意義

な時間を過ごすことができました。

翌日、NHK朝の連続ドラマ小説「ゲゲゲの女房」の大ヒットで一躍脚光をあびた境港の「水木しげるロード」を案内していただき、たくさんの妖怪に和まされて、帰路につきました。

担当会の鳥取会の役職員の皆様、大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

この事務局研修は、２年に１度各会持ち回りで開催されており、毎回懐かしい顔に会えるのを楽しみにしております。次の開催は、２年後岡山でとのこと。また２年老けますが・・・又の機会を楽しみに執務に励みたいと思います。

広報部より

編集後記

・もう11月。急に冷え込んでまいりました。60周年記念事業の10月９日の表示登記無料相談会と10月22日の記念祝賀会も皆様のご協力により盛会のうちに終わりました。記念誌の作成も記念企画の2つの座談会も終わりあとは記念誌の発行を残すのみです。

・60周年記念誌の発行に当たっては、40周年の際と同様に会員名簿の作成を企画いたしました。まだ原稿を提出されていない会員の方は是非とも提出をお願いいたします。10年後、20年後に土地家屋調査士業務のよい思い出となるはずです。

・今回の会報には40周年記念誌作成の中心となられた元副会長の前田博司氏に引退されてからのご様子について寄稿をお願いいたしました。引退されてからも充実した日々を送られているようです。

（高松）

ひと・とち・みらい　はーもにー

山口県土地家屋調査士会

〒753-0042　山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページhttp://www.chousashi.net/
Eメールyamatyo@chousashi.net